

第141回

日本循環器学会東北地方会

参加者数：121名

演題数：73

第1会場（桜1）

虚血性心疾患1 (9:00 ~ 9:35)

座長 藤野 安弘

- 1 冠動脈形成術や心臓バイパス術後症例における多列検出器CTによる冠動脈プラークの存在・性状診断の試み

町立羽後病院 内科 安田 修、松田 健一、米川 力

- 2 当センターにおける平成16年の経皮的冠動脈形成術・・・一年間の追跡検査成績も含めて・・・

秋田県成人病医療センター 佐藤 匡也、庄司 亮、門脇 謙
阿部 芳久、寺田 健、熊谷 肇
三浦 博

- 3 当科におけるCypher stentの使用成績

福島県立医科大学 第一内科 三次 実、坂本 信雄、金子 博智
八巻 尚洋、国井 浩行、中里 和彦
石川 和信、矢尾板裕幸、石橋 敏幸
丸山 幸夫

- 4 急性心筋梗塞症例に対するDoor to Ballon Inflation Timeの検討

山形県立中央病院 循環器科 松井 幹之、後藤 敏和、矢作 友保
玉田 芳明、高橋健太郎、南 幅 修
荒木 隆夫

- 5 当センターでの若年急性心筋梗塞症例の検討

岩手医科大学 第二内科 木村 琢己、伊藤 智範、金矢 宣紀
循環器医療センターCCU 赤津 智也、房崎 哲也、那須 和広
石田 博文、松井 宏樹、石川 有
新沼 廣幸、鈴木 知己、中村 元行

第1会場（桜1）

虚血性心疾患2 (9:35 ~ 10:10)

座長 長谷川 仁志

- 6 高感度 C-reactive protein (hsCRP) と総死亡率の関連；岩手県北地域住民を対象とした縦断研究

岩手医科大学 第二内科・循環器センター 佐藤 権裕、田中 文隆、瀬川 利恵
小川 宗義、永野 雅英、中村 元行
岩手医科大学 衛生学公衆衛生学 小野田敏行、板井 一好、坂田 清美
国立循環器病センター 検診部 岡山 明
岩手予防医学協会 検診部 川村 和子

- 7 当院における高齢者心筋梗塞症例の院内予後

仙台オープン病院 秋山 恵俊、浪打 成人、三浦 裕
杉江 正、王 文輝、加藤 敦
金澤 正晴

- 8 当院における心臓リハビリテーションの現況

太田西ノ内病院 循環器センター 遠藤 教子、関口 祐子、圓谷 隆治
本間 俊彦、新妻 健夫、三浦 英介
武田 寛人、廣坂 朗
太田記念病院 循環器科 大和田憲司
福島県立医科大学 第一内科 丸山 幸夫

- 9 冠動脈造影 CT によるスタチン療法前後のプラーク経過観察

町立羽後病院 内科 松田 健一、安田 修、米川 力

- 10 Interleukin6 の上昇および Lipoprotein (a) の低下はペアメタルステント留置後の再狭窄を予測する

米沢市立病院 循環器科 藤野 彰久、渡辺 達也、平 カヤノ
芦川 紘一
福島県立医科大学 第一内科 丸山 幸夫

第1会場（桜1）

虚血性心疾患3 (10:10 ~ 10:52)

座長 田巻 健治

- 11 Brugada 波形の心電図を有し、コハク酸シベンゾリンにより誘発された冠攣縮性狭心症の1例

岩手県立宮古病院 循環器科 中村 明浩、伊藤 俊一、後藤 淳
星 信夫

- 12 AEDにて救命し得たCPRの1例

仙台厚生病院 心臓センター 青野 豪、寺嶋 正佳、密岡 幹夫
大友 達志、藤原 里美、本田 英彦
滝澤 要、宮崎 泰輔、本多 卓
秋山 英之、小野寺勝紀、櫻井 美恵
多田 憲生、目黒泰一郎

- 13 シルデナフィル内服後に急性心筋梗塞を発症した1例

山形県立中央病院 循環器科 長澤 純子、後藤 敏和、南 幅 修
矢作 友保、松井 幹之、玉田 芳明
荒木 隆夫

- 14 虚血性心室瘤の3例

岩手医科大学 第二内科・循環器センター 那須 和広、伊藤 智範、金矢 宣紀
赤津 智也、房崎 哲也、石田 博文
松井 宏樹、木村 琢巳、石川 有
新沼 廣幸、鈴木 知己、中村 元行

- 15 Bystander CPRと早期除細動が救命に大きく寄与した急性心筋梗塞の1例

山形県立中央病院 矢作 友保、南 幅 修、高橋健太郎
玉田 芳明、松井 幹之、後藤 敏和
荒木 隆夫

- 16 冠動脈stent留置後の繰り返すstent血栓症に対してstent in stentが有効であった5症例の検討

星総合病院 循環器科 氏家 勇一、待井 宏文、坂本 圭司
清野 義胤、渡邊 直彦、木島 幹博

第1会場（桜1）

虚血性心疾患4 (10:52 ~ 11:34)

座長 木島 幹博

17 Pulse Infusion Thrombolysis 後 Distal protection 下血栓吸引により病変部巨大血栓の処理に成功した AMI 症例

太田西ノ内病院 循環器科 圓谷 隆治、三浦 英介、関口 祐子
本間 俊彦、遠藤 教子、新妻 健夫
武田 寛人、廣坂 朗

太田記念病院 大和田憲司

福島県立医科大学 第一内科 丸山 幸夫

18 当院で経験した薬剤溶出ステント再狭窄の2症例の検討

仙台循環器病センター 南雄一郎、藤井 真也、八木 勝宏
藤森 完一、小林 弘、福島 教照
内田 達郎

19 Drug eluting stent (DES) 留置後再狭窄を認めた1例

岩手県立中央病院 循環器科 伊藤貴久代、高橋 務子、細谷 真紀
八木 卓也、高橋 徹、野崎 哲司
野崎 英二、田巻 健治

20 Cypher stent における亜急性血栓閉塞の1例

岩手県立中央病院 循環器科 早津 幸弘、高橋 徹、細谷 真紀
高橋 務子、八木 卓也、野崎 哲司
野崎 英二、田巻 健治

21 蔓状血管腫による喀血を合併しながら薬剤溶出ステント留置に成功した冠動脈狭窄の1例

宮城県立循環器・呼吸器病センター 渡邊 誠、佐々木英彦、大沢 上
菅野 孝幸、柴田 宗一、山口 濟

22 川崎病後、冠動脈瘤による左前下行枝の狭窄に対してロタブレーターを施行した1例

仙台医療センター 循環器科 尾上 紀子、田中 光昭、谷川 俊了
馬場 恵夫、渡辺 力、平本 哲也
仙台オープン病院 循環器内科 加藤 敦
みやぎ県南中核病院 循環器科 富岡 智子

第2会場（桜2）

不整脈1 (9:00~9:28)

座長 鈴木 均

- 23 逆行性速伝導路を修飾したため遅伝導路焼灼の評価が不十分となった房室結節回帰性頻拍の1例

東北公済病院 循環器科 大友 淳、杉村 彰彦、福地 満正
東北大学 循環器病態学分野 菅井 義尚、熊谷 浩司、下川 宏明

- 24 非通常型房室結節リエントリー性頻拍と右心耳基部を起源とした心房頻拍を合併した1例

仙台市立病院 循環器科 住吉 剛忠、八木 哲夫、滑川 明男
石田 明彦、田淵 晴名、山科 順裕
伊藤 明一

- 25 冠静脈洞内憩室からの通電で副伝導路離断に成功したWPW症候群の1例

いわき市立総合磐城共立病院 循環器科 黒木 健志、戸田 直、佐藤 崇匡
三戸 征仁、山尾 秀二、小松 宣夫
朴沢 英成、杉 正文、油井 満
市原 利勝

- 26 若年女性に認められた僧房弁輪部からの心房頻拍の1例

仙台市立病院 山科 順裕、八木 哲夫、石田 明彦
滑川 明男、田淵 晴名、住吉 剛忠
伊藤医院 伊藤 明一

不整脈2 (9:28 ~ 9:56)

座長 野崎 直樹

- 27 左房内のfocal sourceが発作性心房細動のinitiationとmaintenanceに関与していたと考えられた1例

仙台市立病院 山科 順裕、八木 哲夫、石田 明彦
滑川 明男、田淵 晴名、住吉 剛忠
伊藤医院 伊藤 明一

第2会場（桜2）

- 28 QRS 波形が類似する Aorto-mitral Continuity と大動脈弁冠尖部起源の特発性左室流出路源性期外収縮の2例

東北大学 循環器病態学分野 熊谷 浩司、若山 裕司、福田 浩二
菅井 義尚、遠藤 秀晃、下川 宏明

- 29 洞調律下に CARTOsystem を用い心室頻拍のアブレーションに成功した拡張型心筋症の1例

福島県立医科大学 第一内科 松本 健、鈴木 均、及川 雅啓
神山 美之、国井 浩行、石川 和信
矢尾板裕幸、石橋 敏幸、丸山 幸夫

- 30 Electroanatomical mapping が有効であった不整脈源性右室心筋症の1例

総合南東北病院 循環器内科 山田 慎哉、小野 正博、永沼和香子
武藤 満

不整脈3 (9:56 ~ 10:31)

座長 八木 哲夫

- 31 慢性腎不全透析患者にピルジカイニドを投与し心室頻拍を認めた1例

公立置賜総合病院 循環器科 結城 孝一、金子 一善、田村 晴俊
石野 光則、屋代 祥典

- 32 アミオダロン服用中に肝臓 CT 値の高値を来した1例

福島県立医科大学 第一内科 鈴木 均、上北 洋徳、山口 修
松本 健、国井 浩行、石川 和信
矢尾板裕幸、石橋 敏幸、丸山 幸夫

- 33 ステロイド治療を要したアミオダロン誘発性破壊性甲状腺炎の1例

岩手医科大学 第二内科・循環器センター 梶田 房紀、橘 英明、籾 義仁
中村 元行
八戸赤十字病院循環器科 大内 真美、西山 理、向井田春海

第2会場（桜2）

- 34 失神の既往、ピルジカイニド負荷試験、心室細動誘発性からみた Brugada 症候群の予後の検討

弘前大学 循環器・呼吸器・腎臓内科 佐々木真吾、岩佐 篤、木村 正臣
小林 孝男、足利 敬一、堀内 大輔
奥村 謙

- 35 右室流出路に心内膜側興奮伝播遅延を認めたブルガダ型心電図症例

東北大学 循環器病態学分野 福田 浩二、熊谷 浩司、若山 裕司
菅井 義尚、遠藤 秀晃、下川 宏明

不整脈4 (10:31 ~ 11:06)

座長 熊谷 浩司

- 36 糖尿病を合併した発作性心房細動に対する抗不整脈薬療法の治療成績と血栓塞栓症の予後

岩手県立磐井病院 循環器科 浅野 太郎、小松 隆、中村 紳
鈴木 修
弘前大学 循環器・呼吸器・腎臓内科 奥村 謙

- 37 Intracardiac Echocardiography (ICE) を用いた Fossa Ovalis の臨床的検討

仙台市立病院 循環器科 山科 順裕、八木 哲夫、石田 明彦
滑川 明男、田淵 晴名、住吉 剛忠
伊藤医院 伊藤 明一

- 38 無名静脈へ挿入したステントの右室内脱落により完全房室ブロックを来たした慢性腎不全透析患者の1例

公立置賜総合病院 金子 一善、結城 孝一、田村 晴俊
石野 光則、大道寺飛雄馬

- 39 一般人による AED 使用で救命された肥大型心筋症の1例

いわき市立総合磐城共立病院 循環器科 黒木 健志、戸田 直、佐藤 崇匡
三戸 征仁、山尾 秀二、小松 宣夫
朴沢 英成、杉 正文、油井 満
市原 利勝

第2会場（桜2）

40 自動体外式除細動器（AED）が作動しなかった持続性心室頻拍の1例

岩手県立宮古病院 循環器科 中村 明浩、伊藤 俊一、後藤 淳
星 信夫

心不全1 (11:06 ~ 11:34)

座長 齊藤 崇

41 拡張期心不全における血清中I型コラーゲンC末端テロペプチドの検討

山形大学 循環・呼吸・腎臓内科学分野 北原 辰郎、竹石 恭知、有本 貴範
新関 武史、野崎 直樹、広野 撰
渡邊 哲、二藤部丈司、角田 裕一
宮下 武彦、高橋 大、奥山 英伸
久保田 功

42 血清ペントシジン濃度は心不全の予後予測因子である

山形大学 循環・呼吸・腎臓内科学分野 小山 容、竹石 恭知、有本 貴範
新関 武史、奥山 英伸、野崎 直樹
広野 撰、渡邊 哲、二藤部丈司
角田 裕一、宮下 武彦、高橋 大
久保田 功

43 アンジオテンシン変換酵素阻害薬またはアンジオテンシン受容体拮抗薬は拡張不全の予後を改善する

東北大学 循環器病態学分野 高橋 潤、篠崎 毅、柴 信行
多田 智洋、下川 宏明

44 心房中隔欠損症術後に僧帽弁逆流が増悪した僧帽弁形成不全の1例

福島県立医科大学 第一内科 及川 雅啓、高野 真澄、坂本 信雄
八巻 尚洋、鈴木 均、石川 和信
矢尾板裕幸、石橋 敏幸、丸山 幸夫

第2会場（桜2）

心不全2 (11:34 ~ 12:02)

座長 矢尾板 裕幸

45 中枢性睡眠時無呼吸症候群を伴う慢性心不全患者に対する夜間酸素療法の抗炎症効果について

山形大学 循環・呼吸・腎臓内科学分野 鈴木 聡、野崎 直樹、竹石 恭知
久保田 功

46 ピタバスタチンの心保護作用に関する検討（2）

本荘第一病院 循環器科 鈴木 泰、金子 順二
秋田大学 循環器・呼吸器内科学分野 伊藤 宏

47 拡張障害を伴う心不全患者における貧血と突然死

東北大学 循環器病態学分野 多田 智洋、柴 信行、篠崎 毅
高橋 潤、渡辺 淳、白土 邦男
下川 宏明

48 植え込み型除細動器を用いて両心室ペーシングを施行した家族性拡張型心筋症の1症例

東北大学 循環器病態学分野 若山 裕司、熊谷 浩司、福田 浩二
菅井 義尚、遠藤 秀晃、篠崎 毅
下川 宏明
東北大学 心臓血管外科学分野 井口 篤志、田林 暁一

第3会場（白樫1）

血栓・血管1（9:00～9:28）

座長 金澤 正晴

- 49 脳卒中急性期における経僧帽弁流入血流速波形の解析は心原性脳塞栓の診断に有用である

山形大学 循環・呼吸・腎臓内科学分野 劉 凌、廣野 摂、奥山 英伸
竹石 恭知、久保田 功

- 50 頸動脈内に血栓を認めたバルサルバ洞破裂の1例

平鹿総合病院 第二内科 佐藤 貴子、伏見 悦子、相澤健太郎
宮内 栄作、武田 智、高橋 俊明
関口 展代、林 雅人

- 51 冠動静脈瘻が瘤化したと考えられる1症例

庄内余目病院 心臓センター 薦岡 成年、市川 誠一、東 修平

- 52 冠動脈-肺動脈瘻に対し外科的加療を施行した1症例

東北厚生年金病院 循環器センター 山中 多聞、亀山 剛義、三引 義明
菅原 重生、片平 美明

血栓・血管2（9:28～9:56）

座長 石川 和信

- 53 血管雑音にて発見された右内胸動脈-肺動脈瘻の1例

市立秋田総合病院 循環器科 藤原 敏弥、中川 正康、大楽 英明
きびら内科クリニック 鬼平 聡
秋田大学 循環器・呼吸器内科学分野 宗久 雅人、伊藤 宏

- 54 高精度ドプラ法により血管壁の炎症の経過を把握しえた高安動脈炎の1例

東北大学 循環器病態学分野 小岩 喜郎、加藤 豪、下川 宏明
東北大学中央検査部 千葉 賢治、大平 未佳
東北大学血液免疫科 石井 智徳、宗像 靖彦、佐々木 毅

- 55 当院における永久型下大静脈フィルターの有効性についての検討

山形大学 循環・呼吸・腎臓内科学分野 宮下 武彦、渡邊 哲、竹石 恭知
久保田 功

第3会場（白樫1）

56 糖尿病性動脈硬化巣の Advanced Glycation End Products (AGEs) と Matrix Metalloproteinases (MMPs)

福島県立医科大学 第一内科 川口美智子、泉田 次郎、斎藤富慈子
矢尾板裕幸、石橋 敏幸、丸山 幸夫

外科 (9:56 ~ 10:24)

座長 菅野 恵

57 Re-do OPCAB 症例に対する検討

福島県立医科大学 心臓血管外科 瀬戸 夕輝、佐戸川弘之、佐藤 洋一
小野 隆志、高瀬 信弥、渡邊 俊樹
若松 大樹、佐藤 善之、坪井 栄俊
横山 齊

58 重症心不全に対しカルベジロールが有効であった大動脈弁輪拡張症の1手術例

星総合病院 心臓血管外科 高橋 皇基、高橋 昌一

59 巨大下肢動静脈奇形に対するコイル塞栓術の1例

南東北福島病院 心臓血管外科 櫻田 徹

60 ペースメーカー及び植え込み型除細動器 (ICD)感染症例の検討

秋田大学 心臓血管外科学分野 白戸 圭介、山本 文雄、石橋 和幸
向井田昌之、千田 佳史、成田 卓也
井上 賢之、本川真美加、田中 郁信
榎本 吉倫、山本 浩史、近藤 克幸
秋田県成人病医療センター 循環器科 寺田 健、阿部 芳久
秋田県成人病医療センター 心臓血管外科 山浦 玄武、関 啓二
平鹿総合病院 心臓血管外科 加賀谷 聡、相田 弘秋
由利組合総合病院 心臓血管外科 青山 泰樹、鳶田 泰之

第3会場（白樫1）

心筋症 (10:24 ~ 10:59)

座長 瀬川 郁夫

61 心サルコイドーシスが疑われた症例に対して¹⁸F-FDG PETがその診断および治療効果判定に有用であった1例

秋田大学 循環器・呼吸器内科学分野 小山 崇、小野 裕一、小坂 俊光
長谷川仁志、渡邊 博之、飯野 健二
石田 大、土佐 慎也、高橋陽一郎
宗久 佳子、大場 貴喜、小熊 康教
伊藤 宏

秋田県立脳血管研究センター 小野 幸彦、泉 学

62 心病変が著明であった家族性アミロイドーシスの1例

東北大学 循環器病態学分野 多田 博子、苅部 明彦、福田 浩二
熊谷 浩司、清水 亜希子、多田 智洋
小丸 達也、加賀谷 豊、下川 宏明
東北大学 病理部 渡辺 みか、笠島 敦子

熊本大学 病態情報解析学分野 安東由喜雄

63 心ファブリー病に対して酵素補充療法を施行した1例-その効果と今後の課題について-

東北大学 循環器病態学分野 縄田 淳、苅部 明彦、下川 宏明
古川市立病院 循環器科 矢作 浩一

64 アルコール多飲に伴うたこつぼ型心筋症の1例

仙台市立病院 循環器科 田淵 晴名、八木 哲夫、滑川 明男
石田 明彦、山科 順裕、住吉 剛忠
伊藤医院 伊藤 明一

65 運動後に心肺停止に至った催不整脈性右室心筋症の1例

中通総合病院 循環器科 阪本 亮平、五十嵐知規、佐々木憲一

第3会場（白樫1）

心筋炎・心内膜炎（10:59～11:27）

座長 小丸 達也

66 III度房室ブロック発症第4病日後に劇症化した急性心筋炎の1例

仙台市立病院 循環器科 野上 慶彦、八木 哲夫、山科 順裕
滑川 明男、石田 明彦、田淵 晴名
住吉 剛忠
伊藤医院 伊藤 明一

67 長時間 CPR 後、開胸下 PCPS 装着にて救命できた劇症型心筋炎の1症例

東北大学 循環器病態学分野 矢作 浩一、岩 渕 薫、高橋 克明
福田 浩二、深堀 耕平、高橋 潤
下川 宏明、白土 邦男
東北大学 心臓血管外科学分野 齋木 佳克、赤坂 純逸、井口 篤志
田林 暁一

68 急性劇症型心筋炎の循環動態改善に PMX-DHP が有効と考えられた1症例

太田西ノ内病院 循環器センター 三浦 英介、豊田夕布子、圓谷 隆治
関口 祐子、遠藤 教子、本間 俊彦
新妻 健夫、武田 寛人、廣坂 朗
太田記念病院 大和田憲司
福島県立医科大学 第一内科 丸山 幸夫

69 急性心筋梗塞を合併した感染性心内膜炎の1例

いわき市立総合磐城共立病院 循環器科 佐藤 崇匡、小松 宣夫、黒木 健志
三戸 征仁、戸田 直、山尾 秀二
朴沢 英成、杉 正文、油井 満
市原 利勝
いわき市立総合磐城共立病院 心臓血管外科 梅津健太郎、廣田 潤
福島県立医科大学 第一内科 石橋 敏幸、丸山 幸夫
いわき市立総合磐城共立病院 病理部 浅野 重之

第3会場（白樫1）

循環病態 (11:27 ~ 11:55)

座長 竹石 恭知

70 微量の甲状腺ホルモン療法は、慢性減負荷環境における心機能およびカルシウム調節機能の低下を抑制する

東北大学 循環器病態学分野 湊谷 豊、伊藤 健太、加賀谷 豊
浅海 泰栄、中山 雅晴、高橋 潤
矢作 浩一、武田 守彦、白土 邦男
下川 宏明
東北大学 心臓血管外科学分野 井口 篤志

71 単球の NO 不全血管内皮細胞への接着における凝固亢進機序の検討—MCP-1を介する Ca^{2+} シグナルの関与について

福島県立医科大学 第一内科 阪本 貴之、石橋 敏幸、坂本 信雄
上岡 正志、杉本 浩一、大河原 浩
丸山 幸夫

72 微小管重合と心筋細胞アポトーシスの関連性

東北大学 循環器病態学分野 佐治 賢哉、鈴木 潤、縄田 淳
杉村宏一郎、福井 重文、佐久間聖仁
白土 邦男、下川 宏明

73 代謝性冠血管拡張因子としての過酸化水素の関与—摘出ラット冠微小血管を用いた検討

福島県立医科大学 第一内科 斎藤 修一、石橋 敏幸、丸山 幸夫
ルイジアナ州立大学 チリアン ウィリアム

ランチョンセミナー 12:15 ~ 13:15 (第1会場 桜1)

座長 福島県立医科大学 内科学第一講座 教授
丸山 幸夫 先生

**「急性冠症候群のリスク層別化と初期治療
—multi- biomarker approach の導入—」**

日本医科大学 内科学第一講座 教授
清野 精彦 先生

共催 第141回日本循環器学会東北地方会
武田薬品工業株式会社

特別講演

13:15 ~ 14:15 (第1会場 桜1)

座長 福島県立医科大学 内科学第一講座 教授
丸山 幸夫 先生

**「地域医療からみた心不全：
BNPによるスクリーニングは可能か？」**

岩手医科大学 内科学第二講座 教授
中村 元行 先生

評議員会

特別講演終了後 (第2会場 桜2)

第 5 回日本循環器学会東北支部 AHA ACLS Provider Course

<http://www.eccjp.net/>

開催日: 平成 18 年 2 月 4 日(土)~5 日(日)の 2 日間

(日循東北地方会は 2 月 4 日(土)のみです)

開催時間: 午前 9 時~午後 6 時の予定

会場: 仙台市医師会館 (日循東北地方会会場と異なります)

受講者: 30 名(上記ホームページから受け付けます)

受講資格: AHA BLS for Health Care Provider Course を ACLS Course までに受講済みであること

見学者: 随時受け付けいたします(時間によっては人数制限があります)

受講料: 日循学会員 23,000 円(日本循環器学会より補助があるため)

非 会 員 38,000 円

コースディレクター: 獨協医科大学 心血管・肺内科 菊地 研きくち みがく

コースコーディネーター: 弘前大学医学部 循環器呼吸器腎臓内科 花田 裕之はなだ ひろゆき

2003 年夏に、日本循環器学会の心肺蘇生法普及委員会から「Chain of Survival(救命の連鎖)」の確立を訴えた提言がなされ、学会として以下の目標を掲げています(<http://www.j-circ.or.jp/shinpaisosei/index.htm> 参照)。

1. 会員全員が心肺蘇生法トレーニングを受け、医師、コメディカル、一般市民に対する指導者となる。具体的には、地方会や都道府県単位でトレーニングコースを開催し、指導者養成を図る。
2. 循環器専門医は、標準的な二次救命処置(Advanced Cardiovascular Life Support, ACLS)を習得し、循環器救急医療におけるチームリーダーとなる。
3. 米国心臓協会(AHA)認定の心肺蘇生法トレーニングコースを日本蘇生協議会(JRC)参加関連学会とともに開催し、認定する。

この提言に基づいて、日本循環器学会からの財政的支援も行われ、地方会毎に ACLS コースが開催されています。日本循環器学会地方会の中では、東北地方会は、いち早く AHA ACLS Provider Course を取り入れました。今回の ACLS コースも、日循認定コースであると同時に、AHA の正規認定コースでもあります。

AHA ACLS provider コースは、実習中心のコースとなっています。心肺停止例への心肺蘇生法や救命処置だけでなく、心肺停止へ陥る危険性の高い病態や不整脈への治療が含まれています。AHA 認定コースですので、修了時には AHA の ACLS provider カードが授与されます。そして、AHA ACLS provider course を優秀な成績で修了された方は、別途予定される AHA ACLS Instructor course への推薦の対象となりますので、AHA ACLS Instructor として御指導いただける道が開かれています。また、日循認定コースとして、修了時に日循認定コースの修了証と循環器専門医へは 10 単位が付与されます。

近い将来、日本循環器学会専門医に AHA ACLS provider course が必修化されます。今年の 3 月の日本循環器学会理事会で承認されました。循環器専門医試験をこれから受験しようと思っている方は受験するときに必要になってきますし、すでに専門医の資格を持っている方も 5 年毎に専門医の更新をするときに必要になってきます。

日本循環器学会はこの AHA ACLS provider course を日本各地域へ広めていく予定ですので、皆様にはこの普及へのご賛同とご協力をいただきたいと思います。